

毎月8のつく日は「早く家庭に帰る日」です!

【岐阜県】

# 岐阜県 中小企業情報

発行所  
**岐阜県中小企業団体中央会**

岐阜市数田南5丁目14番53号  
岐阜県県民ふれあい会館8階

毎月20日発行 購読料 年間1,500円(1部125円)

事務局直通電話

管理調整チーム 058-277-1100(代)

組織指導チーム 058-277-1101

広報・事業チーム 058-277-1102

情報チーム 058-277-1103

事務局FAX番号 058-273-3930

東濃支所 0572-25-0865

飛騨支所 0577-34-4300

東濃支所FAX番号 0572-23-7431

飛騨支所FAX番号 0577-36-4220



← 中央会・理事会(役員会)



「願掛けなでさるぼぼ」の開眼法要と完成披露式 →

2007  
5月号

主な記事

- 中央会の動き(理事会ほか)
- 組合等の動き(陶磁器イベントほか)
- 中央会年間行事予定表
- 4月の景況調査

- 2 中小企業の情報化支援について 6
- 3 総会後の手続きフロー図など 7
- 4 事務局だより(研修会の案内ほか) 8~9
- 5

## 時の課題

07年の中小企業白書が、このほど閣議決定された。今年の白書では、「地域と共に成長する中小企業」と「経済構造の変化にチャレンジする中小企業」の2つのテーマについて分析

している。このうち、2番目のテーマである経済構造の変化については、「変容する企業間の取引構造」として、系列取引が主と考えられていた企業間の取引構造におけるメッシュ化の現状と、メッシュ化と取引関係の緊密化が両立する条件、「企業間の取引条件が中小企業に及ぼす影響」として、販売側の中小企業が販売価格、知的財産の保持等で有利な立場を確保するための条件、「人的資源蓄積に向けた中小企業の取組」として、中小企業の経営を支える人材の不足状況と確保に向けた取組の3点を分析している。本稿では、このうち について紹介したい。

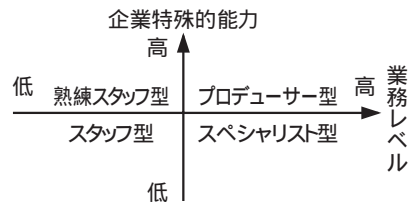
### キーパーソンの確保が課題

~ 07年版中小企業白書から

雇用の現状として、まず、雇用環境が改善する中で、規模の小さい企業ほど求人を増やしているが雇用者数は増えていないこと、特に30人以下の企業で確保が難しくなっていること、また、非正規雇用者の増加は大企業で顕著であり、中小企業では個々の企業において正規雇用を非正規雇用で代替しているわけではないことを指摘している。

業務レベルの高低、企業特殊的能力レベルの高低で企業における人材構成を4区分(図参照)したとき、

最も必要とされるプロデューサー型人材の割合は17%と10年前と比べると3ポイント減少しているが、企業業績ごとに



に見ると業況感の良い企業では逆に増加している。中小企業を支えるキーパーソン(コアとなる業務を担う他では代替できない人材で代表者以外の者)は、1社平均で3人存在しており、その採用は、中途採用が最も多く44%、大学・大学院新卒者と創業時のメンバーはともに14%にとどまっている。また、採用時にキーパーソンとなることを前提での採用は少ない。キーパーソンの確保・育成の課題としては、「数が足りない」、「能力不足」があげられている。

キーパーソンのキャリアでは、本人回答では、「自己啓発」「資質」「職務経験」がそれぞれ2割強となっているが、企業からの回答では「資質」が5割強となっており意識にギャップがある。また、キーパーソンの継続勤務の理由は、「仕事のやりがい」が46%と最も多く、次いで「専門性・能力が生かせる」が41%と突出して多いのが注目される。

中小企業にとっては、環境の厳しい中で、中途採用で能力ある人材をいかに獲得し、育成するのが重要だと指摘している。

生コン会館(岐阜市西鶉)で「献血」・「産業展フェア」が開催されます!  
【日時】平成19年6月14日(木) 9時~16時30分(問い合わせ先は次頁の欄外)

## 理事会を開催し、総会提出議案審議と意見交換会を行う

岐阜県中央会は、理事会(役員会)を5月8日、県民ふれあい会館で開催した。

理事会の開会に先立ち、辻正会長は「欧州に行く機会があり、西洋の歴史を学び新しい発見が沢山あった。欧州の中小企業は、長い歴史がある。その時代背景からか、切迫感があまり感じられなかった。企業経営において、悲壮感だけでなくゆっくり構えるのも一つの手ではないか。中央会も少数精鋭で業務に励んでいる。今後とも叱咤激励をお願いしたい。」とあいさつした。

次に『第52回通常総会』への提出議案等の審議が行われ、全て原案どおり承認された。

続いて意見交換会へと移り、業界の現状・課題等について意見が述べられた。

**今井哲夫常任理事**(岐阜県金属工業団地協) = 組合では共同受電の事業を行っており、組合員企業の元気を測るために電気の使用量を見ているが、平成15年秋頃から上向き、毎年、前年を上回ってきている。また、組合員の設備投資も活発化し、工場の拡張、団地外に新工場を建設するケースも増えているほか、海外進出の動きも出始め、景気回復が着実に進んでいると感じている。

一方で、材料の高騰が価格に転嫁できないという問題や景気回復に伴う人材確保難という課題を抱えている。企業規模の格差が出てきており、共同事業を効果的に展開出来ないという課題もあるが、組合では、本年から3年計画で高度化事業を実施する予定である。また、団地内に光ファイバーを敷設したので、ITの推進に努めるほか、人材確保の推進にも取り組みたい。

**小西輝幸常任理事**(岐阜県砕石(工組)) = 砕石業界は、建設業界と緊密関係にあり、厳しい状況が10年ほど続いている。建設業界が良くなしないと単独で砕石だけ売価を上げることはできない。道路補修の際発生する廃アスファルトやコンクリートの再利用が半分程度を占めている。関係する法律等が10本程あり、県との折衝も多いが、組合が行政とのパイプ

役を担っている。

若い経営者へと世代交代が進み、活気が出はじめており、新しい取り組みなども検討している。

砕石業界は山から、砂利業界は川や陸地から石を採取しており、道路は砕石、生コンは砂利という棲み分けが出来ていた。河川砂利の枯渇から砕石の需要増という話題もあるが、砂利業界とも協力して、お互いが伸びる道を探していきたい。

**林初彦常任理事**(岐阜県印刷(工組)) = 価格競争などにより20年前に200社程度であった組合員が125社となり、その中でも規模の小さい企業が減少している。価格競争の要因の一つに供給力の過剰が考えられる。倒産等により企業数は減少したが、生産能力がゼロになるわけではなく、倒産した企業を買収し、安価な価格で仕事を受注するなど悪循環となっている。

こうした中で、業界ではコストダウンを図るため、スピーディーで大量印刷が可能な設備を導入する企業も増えており、17、18年度に全国で約200台、700~800億円程の設備投資が行われた。営業基盤を東京へ移す企業も増加しており、パッケージ関係を主に行う業者、大都市から出版物を中心に仕事を受注する業者など、各企業が特色を出して経営している。印刷業の社会的地位の高いイギリスのように、我々も誇りを持って仕事をしていきたい。

新規加入組合は次のとおり。〔平成19年1月31日~平成19年5月8日まで〕 ( )内は代表者名、所在地、組合員数。

岐阜県貨物運送(協連)(堀部貞夫理事長、岐阜市、7名) 井ノ口ソーイング協(辻好男理事長、岐阜市、5名) 中濃建設発生土処理協(平野公三郎理事長、関市、7名) リュース・クリエイト協(松久進理事長、坂祝町、7名)

また、理事会終了後、交流会を開催。軽食をとりながら役員相互の自由な意見交換が行われた。

## 中小企業現場めぐりツアーを実施

中央会では、4月25日、県の中小企業支援業務担当者に中小企業のものづくりと販売の現場について一層理解してもらうため、組合・企業の視察と意見交換会を実施した。

昨年に引き続き2回目の実施となった今回、30人の参加を得て、岐阜生花市場協同組合、産業用紙やインテリア商品など和紙を使った独自の製品を提案しているMOLZA(株)、地産地消に取り組み「つるむらさき」を練り込んだうどんを提供している武芸川町特産品開発企業組合、そして、関連合勿物協同

組合とその組合員企業である生駒鍍金工業(株)と日本熱処理(株)の6ヶ所を巡った。

各訪問先では、それぞれの運営状況や業況などが担当者から説明された。生花市場では競りの様子を見学し、買受人から競りの方法などを聞く人の姿も見られた。3つの中小企業では、製造工程の説明を受けながら工場を見学、また、つるむらさきうどんや奥美濃古地鶏料理など県産品料理へ取り組むまでのプロセスを伺った。なお、このツアーには、商工中金の長谷川支店長も参加された。





## 土岐市で陶磁器イベント

4月21、22日に「第11回 TOKI - 陶器祭り」(TOKI - 陶器祭り実行委員会)が開催された。土岐市駅前通りを中心にずらりと並んだテントでは、陶磁器メーカーや商社、陶芸作家らの商品がお値打ちに買える「美濃焼買道市」が行われたほか、セラトピア土岐では花と器展や土岐市収蔵品展などが行われた。

また、今年は不用食器を粘土に戻して器の再生に取り組む「グリーンライフ21」のコーナーも設けられ、来場者に対しグループの活動をPRした。

5月3、4日には「定林寺祭り - 窯元めぐり - 」(主催 = 泉陶磁器工業協)が行われ、普段見ることの出来ない窯元めぐりなどが実施された。組合では、この機会を利用し、多くの消費者の声を聴き、今後の商品開発につなげたいとしている。

5月3～5日には「土岐美濃焼まつり」(主催 = 協)土岐美濃焼卸センター)が開催され、3日間で38万人が訪れた。今年も天候に恵まれ、全国から沢山の来場客で賑わった。団地内の陶磁器卸商社が倉庫を開放する「蔵出し市」の他、クラフト作家らが作品を展示即売するテントが軒を連ね、お値打ち価格で和洋食器などが販売された。

また、美濃焼伝統工芸品協は「美濃焼伝統工芸品まつり」(3～5日)を開催した。会場的美濃焼伝統産業会館を無料開放し、特別企画「伝統工芸士による実演とミニ講座」などが実施された。



## さるぼぼの石像を製作

飛騨のさるぼぼ製造協同組合(中澤澄夫理事長)は、飛騨の代表的な民芸品であるさるぼぼ人形の石像「願掛けなでさるぼぼ」を製作した。高さ約1メートル、幅は約50センチで、赤御影石が使われている。

この石像は、良縁や子宝安産、学業成就などさまざまな願いを引き受ける「なで仏」として製作され、高山市総和町の飛騨国分寺の理解を得て、境内の庚申堂横に設置された。また、さるぼぼ購入者から

“さるぼぼ人形を供養してほしい”との要望に応え、供養の場として石像の傍らに「満願成就の棚」も取り付けられた。

4月20日には同寺で開眼法要と完成披露式が行われ、組合員や飛騨観光協会、地元国分寺商店街の関係者ら約30人が出席した。中澤理事長は、「さるぼぼを買って願いが叶ったら供養に来てもらい、次の願いを込めるため新しいさるぼぼを買ってほしい。石像がさるぼぼのシンボルとなり、多くの人に知ってもらえるよう頑張っていきたい。」と抱負を語った。

## 大垣市商連が大垣日大の活躍を祝う

選抜高校野球大会で大垣日大高校が準優勝となり、大垣市内はお祝いムードに包まれた。大垣市商店街振興組合連合会(北野茂樹理事長)では、出場が決定した際に出場を祝うのぼりを掲げたのに続き、準優勝を祝うポスターを1,000枚作製し、売り出しを行う各店舗に貼り出した。

北野理事長は、「大垣日大高校の準優勝は、感動とパワーを与えてくれた。商店街も市民とともに喜ん

でいる。野球部の頑張りを見て、我々も商店街の活性化に向けて頑張っていく。西濃地域は、大型店の出店が相次ぎ激戦区になっているが、国が進めるコンパクトな街づくりに期待しながら、街中が賑わうよう商店街を盛り上げていきたい。」と意気込みを語った。



## 商工中金が「ぎふ子育て応援企業ローン」を創設

商工組合中央金庫岐阜支店(長谷川昌和支店長)は、従業員の子育て支援に取り組む組合等中小企業に対し、金利を優遇するローンを新たに始めた。

県の「子育て支援企業登録制度」に登録した組合や中小企業で、本会が推薦する事業者を中心(推薦がない場合も審査の状況によっては融資が可能)に

融資を行う。ローンは運転資金と設備資金の2種類で、運転資金は5千万円以内で、期間は5年以内。通常の金利から0.2%の優遇がある。また、設備資金は1億円以内で、期間は10年以内。金利は長期プライムレート以上となっている。

詳しくは、商工中金(058-263-9191)までお問い合わせ下さい。

## 地域団体商標「美濃焼」

岐阜県陶磁器工業協同組合連合会(加藤愛之輔理事長)と岐阜県陶磁器卸商業協同組合連合会(坂崎義雄理事長)から共同で出願された「美濃焼」が、今年2月に地域団体商標として特許庁から登録査定を受けた。

加藤理事長は、「美濃焼ブランドの確立と美濃焼販路開拓への取り組みが今後の主な課題である。国

内市場はすでに飽和状態にあり、陶磁器の新規需要は期待が薄い。一方、海外市場においては中国とのシェア競争になり、価格では勝負にならずブランド力で戦うしかない。このためには、高所得者をターゲットに、和食とセットで売り込む必要がある。組合では、組合統一の「美濃焼シール」を貼布し、産地表示の徹底を図るなどブランド力の向上を目指し、一層PRに力を入れていく。」と、地域団体商標『美濃焼』ブランド確立について話した。

## 平成19年度 組合・組合員企業向け研修会等のスケジュール一覧

平成19年度において中央会が予定している事業の一覧表です。組合役職員の皆様をはじめ、組合員企業の皆様にもご参加頂きたいと思っております。また、各種事業の詳細につきましては、別途ご案内致しますので、ご確認いただきお申込み等をお願いします。

予定時期	事業名	対象
5月22日	第1回女性経営者等支援セミナー「会社を元気にする秘訣～やる気×元気×本気×人気～」	県内女性経営者等
6月6日	外国人研修生受入組合運営研修会「外国人研修生、技能実習生受入機関の責務について」	外国人研修生受入組合
6月20日	組合役員研修会「活力ある組合にするため組合役員に必要な知識と役割」	全会員
6月27日	経営戦略セミナー「知恵の源泉は特許情報にあり」	全会員
7月～12月	パソコン研修(県下4会場で実施予定)	全会員
7月 中旬	IT活用推進研修会(情報化問題研修会)「中小企業のためのIT活用セミナー Part 1」	全会員
下旬	組合広報の進め方講座「報道機関への効果的な広報活動」	全会員
8月 月上旬	組合まつり(組合等パワーアッププラザ) 製品展示、セミナー	組合等産品保有組合 全会員・中小企業者
下旬	官公需問題懇談会「中小企業者に関する国等の契約の方針について」	官公需受注事業実施組合
9月 月上旬	IT活用推進研修会(情報化問題研修会)「中小企業のためのIT活用セミナー Part 2」	全会員
中旬	改正組合法研修会(県下3会場)「改正組合法の内容と会計基準について」	全会員
中旬	商業問題懇談会「商売の原点は接客」	全会員
中旬	第2回女性経営者等支援セミナー	県内女性経営者等
10月 中旬	中小企業団体情報連絡員全体会議	情報連絡員
10月25日	第59回中小企業団体全国大会(東京都)	
下旬	中小企業連携組織活用戦略シンポジウム	全会員
11月 月上旬	大学活用セミナー	製造業関係組合 中小企業者
下旬	組合事務局代表者懇談会(岐阜・西濃・中濃地域、東濃地域)	事務局設置組合
下旬	県官公需フォーラム	建設関連業団体部会員
2月 月上旬	第3回女性経営者等支援セミナー	県内女性経営者等
下旬	ものづくり支援研修会	製造業関係組合 中小企業者
3月 月上旬	青中講習会 「小さな世界一企業/世界を制した中小企業！」(予定)	青年中央会会員 中央会会員
中旬	税制問題研修会「平成20年度税制改正の大綱」	全会員

この計画は予定ですので、会場等の都合により変更する場合がございます。

### 助成事業を活用した組合に聞きました！

昨年度、組合等女性部活動支援事業を活用した高山市商店街振興組合連合会ストリート21(松葉早百合代表)を紹介します。

#### テーマ「小さな店の活性化」

車社会となった現在、高山市内の商店街も他地域と同様に、郊外型大型ショッピングセンターの進出や駐車場不足などにより、商店街への客足は遠のき、また、空き店舗問題、後継者問題という様々な課題を抱えている。

こうした中で、組合女性部では、中心市街地の活性化・再生を図るため、商業関連に明るい中小企業診断士の澤芳美氏を招聘し、『まちづくりのリテラシー』や女性な

らではの感性を生かした『魅力ある個店作り』を目指すことを目的に研修を行った。

松葉代表は研修成果について、「大きな壁を乗り越えるには、いかに発想の転換が必要不可欠であるかを再認識するとともに、専門家(中小企業診断士)から見るマイナス要因的な商人像について、実演も交えながら分かり易く指導して頂いた。これにより、小規模店や商店街が今後、大型店舗に対抗できるための重要なヒントを得る事ができ、大変有意義な研修であった。」と事業の成果を語った。

中央会では、組合女性部や女性経営者で作るグループ等を支援しております。研修会などを検討している場合は、是非ご相談下さい。

# 景況感回復の動き

燃料・材料価格上昇が課題

## 4月景況調査

中央会が主要業種85組合(うち84組合による集計)を対象にまとめた『4月の特色』は次のとおり。

【4月の特色】組合から見た県内中小企業の特色は 景況感回復の動き、燃料・材料価格上昇が課題 となっている。

4月の景気動向を前年同月比景況感DI値で見ると、DI値は、マイナス20となり、前月のマイナス31に対し、11ポイントの大幅な改善となった。景況感DI値は、2ヶ月連続の改善の後、前月は大幅な悪化の動きとなり当月再び改善となった。改善の要因は、悪化業種割合がマイナス37からマイナス26に大幅に減少したことが大きい。

他の主要な動向については、それぞれ前月の動向に対し、売上高DI値はマイナス21で6ポイント、販売価格DI値はマイナス3で1ポイントの悪化の動きとなった。収益状況DI値はマイナス28で1ポイントの改善の動きとなった。

業種別の業況概況は、概ね前月と同様であるが、特記すべきこととして機械関係が堅調を維持していること、商店街、建設では厳しい状況が続いていることがあげられる。

コメントでは、依然、多くの業種から材料価格等の値上りによるコスト増と価格転嫁難による収益面への影響を指摘する意見が出ている。また、一時、値下りしていた燃料価格が再び上昇しており、さらなるコスト増への懸念がでている。

## 県内中小企業主要業種の景気動向 (4月末調査)

表の見方：売上・景況感： 好転・増加 変わらず 悪化・減少

区分	業種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳・乳製品 豆腐 食肉(国産) 菓子菓 米寒天水産 製産類	系						
		ニット工業						
		毛織物						
		合成繊維織物						
繊維・同製品	メンズアパレル 婦人・子供服 縫製(既製服)	材						
		銘木						
木材・木製品	集成材 家具(飛騨地区) 東濃ひのき	材						
		銘木						
紙・紙加工品	家庭紙 特殊紙 紙加工品							
印刷	印刷							
化学ゴム	プラスチック							
窯業・土石	陶磁器(工業) 陶磁器(輸出) タイル	窯業原料						
		石灰						
		生コンクリート						

区分	業種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
窯業・土石	窯業原料 石灰 生コンクリート 砂利生産 砕石生産	窯業原料						
		石灰						
		生コンクリート						
鉄鋼・金属	铸件 刃物等金属製品(輸出) 刃物等金属製品(内需) メッキ	铸件						
		刃物等金属製品(輸出)						
一般機械	県金属工業団地 可児工業団地 金型	県金属工業団地						
		可児工業団地						
電機機器 輸送用機器	電気機械器具 輸送用機器	電機機械器具						
		輸送用機器						
各種物産品	各種物産品(観光) 各種物産品(ギフト)	各種物産品(観光)						
		各種物産品(ギフト)						
卸売業	医薬品卸 電設資材卸 陶磁器産地卸 機械・工具販売	医薬品卸						
		電設資材卸						
		陶磁器産地卸						
小売業	青果販売 水産物商業 家電機器販売 メガネ販売 中古自動車販売 石油製品販売 共同店舗(東濃) 共同店舗(飛騨) 生花販売	青果販売						
		水産物商業						
		家電機器販売						
		メガネ販売						
		中古自動車販売						
		石油製品販売						
		共同店舗(東濃)						
		共同店舗(飛騨)						
商店街	岐阜市商店街 大垣市商店街 多治見市商店街 恵那市商店街 高山市商店街	岐阜市商店街						
		大垣市商店街						
		多治見市商店街						
		恵那市商店街						
		高山市商店街						
サービス業	自動車車体整備 自動車タイヤ整備 長良川畔旅館 下呂温泉旅館 高山旅館 クリーニング 広告美術 情報サービス業 映像制作 飲食業 ビルメンテナンス 理容・美容業	自動車車体整備						
		自動車タイヤ整備						
		長良川畔旅館						
		下呂温泉旅館						
		高山旅館						
		クリーニング						
		広告美術						
		情報サービス業						
		映像制作						
		飲食業						
建設業	土木(岐阜地区) 土木(飛騨地区) 土木・建築(羽島地区) 建築(各務原地区) 鉄構造物 電気工事 管設備工事 建築板金 木製建具 産直住宅(東白川地区)	土木(岐阜地区)						
		土木(飛騨地区)						
		土木・建築(羽島地区)						
		建築(各務原地区)						
		鉄構造物						
運輸業	貨物運送(県域) 軽運送	貨物運送(県域)						
		軽運送						



## ソフトピアジャパン、テクノプラザにおける中小企業の情報化支援

岐阜県情報産業課

昨今のめざましい情報化の進展により、インターネットによる電子商取引が増大するなど、企業における情報技術(IT)の利用局面は飛躍的に拡大しており、企業競争力強化のためにも情報化への迅速な取り組みが急がれているところです。特に、中小企業におけるITの利活用は、その効果が組織全体に及びやすいこと、人材不足を解消する効果も高いことなど、大企業よりも短期間で効果が具体化するケースが多いと言われてい

ます。しかしながら、中小企業の経営者にとって、ITの利活用による経営革新を理解するための必要な情報になかなか接することが出来ないことや、ITは導入しているがその能力を十分に活用できていないといった課題があります。また、最近では、企業や官公庁の情報漏洩、パソコンの紛失や盗難などの事件が相次いで起きており、ひとたびこうした事件に見舞われた時には、顧客に重大な損害を与え、企業としての信用、信頼を失ってしまう恐れがあり、情報セキュリティに関する対策が喫緊の課題となっています。

こうした状況に対処すべく、本県では、ソフトピアジャパン(大垣市)・テクノプラザ(各務原市)を核として、県内中小企業の情報化支援やIT人材育成を積極的に行っています。

### 1. ソフトピアジャパンにおける中小企業の情報化支援等

#### (1) 中小企業の情報化支援

ソフトピアジャパンでは、製造業、商業、サービス業など様々な業種にあわせ、IT経営啓発セミナーやIT経営相談、IT経営アドバイザーの派遣などを実施し、各企業の課題解決に向けたきめ細かな助言・支援を行っています。

##### ア. IT経営相談

ITを活用した経営全般のワンストップサービス相談窓口として、相談員がITの利活用に関してご相談・助言を行います。回数制限はありませんので、困った時にいつでも相談が受けられます(無料)。

##### イ. IT経営アドバイザーの派遣

ご相談の中で、さらに専門的なコンサルティングが必要な場合は、適宜各分野の専門家「IT経営アドバイザー」をご紹介します(2回まで無料)。

<お問合せ先> (財)ソフトピアジャパン 情報化支援室 TEL: 0584-77-1177

E-mail = itad@softopia.or.jp URL = <http://www.ouentai.org>

#### (2) 情報通信セキュリティ研修

ソフトピアジャパンでは、企業内での体系的なセキュリティマネジメントの向上やセキュリティ被害に遭わないための対策だけでなく、被害にあったことを想定した対応策の習得を目的とした研修も実施しています。研修は、情報セキュリティに関する基礎知識の習得を目的としたものから中堅技術者層を対象としたものまで、広範に亘る研修を予定しており、また、情報セキュリティの普及啓発に資するセミナーも企画しています。

<お問合せ先> (財)ソフトピアジャパン 人材育成室 人材育成担当 TEL: 0584-77-1166

E-mail = security-info@softopia.or.jp URL = <http://www.softopia.or.jp>

### 2. テクノプラザにおける人材育成とものづくり支援

テクノプラザ内にあるアネックス・テクノ2は、県が運営する「ものづくり」支援施設です。同施設は情報技術をものづくりの現場で役立て頂くために、最新のソフトウェア(CAD、CAM、CAE) 試作加工機、3次元測定器といったものづくりに関する各種ツールを整備し、企業技術者向けの実践的な研修を実施しています。また、これらのツールを安価で業務(設計、加工、解析)に利用していただけるように施設の貸出を行っています。

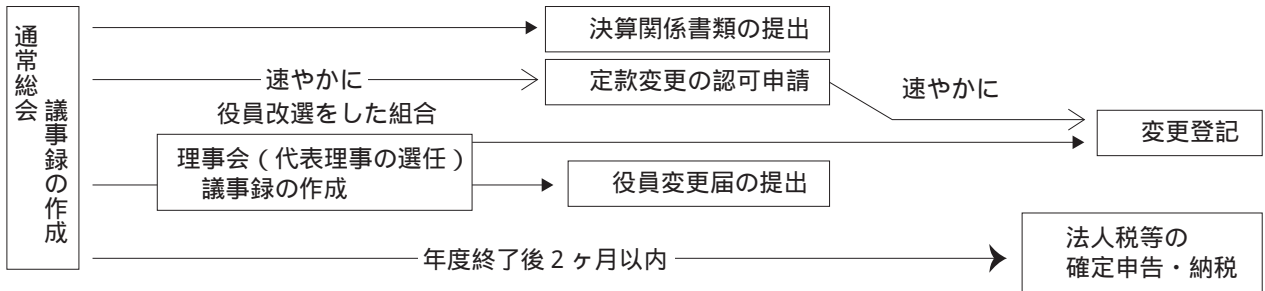
<お問合せ先> アネックス・テクノ2 研修・施設担当 TEL: 058-379-6370

E-mail = kensyu@annextechno2.gr.jp URL = <http://www.annextechno2.gr.jp>

県では、今後も中小企業の競争力に直結するような情報化支援事業、人材育成事業を重点的に実施していく予定であり、企業の事業拡大や技術力向上、人材育成に是非ご活用ください。

## 通常総会終了後に行うべき事項について

通常総会終了後に組合においては、下記の事項について行わなければなりません。  
 ご不明な点がございましたら、組織指導チーム(058-277-1102)までお問い合わせ下さい。



この → は2週間以内に実行

総会議事録の作成(様式は活性化情報106号12頁参照)

所管行政庁に「事業報告書」「財産目録」「貸借対照表」「損益計算書」「剰余金の処分又は損失の処理の方法を記載した書面」「総会又は総代会議事録」を提出する。(同41頁参照)

所管行政庁の認可が必要。総会での特別議決を要する重要事項のため、事前に中央会にご相談下さい。(同45・46・47頁参照)

代表理事等を選出する理事会を開催し、理事会議事録を作成(同14頁参照)

所管行政庁に必要な書類を提出(同43・44頁参照)

代表理事変更登記など、必要があれば行う。

税務署・県・市町村に対して、必要な税務申告を行う。

## 組合データ管理票の送付をお願いします!

中央会では、組合の現状や実態を把握し、指導員の組合巡回等による支援の充実に活用するため、「組合台帳管理システム」の整備に努めています。そこで、最新データを把握するため、代表理事の変更や組合員の増減、出資金の変更など、この1年の間に下記の事項について変更がありましたら、本会にFAXで送付をお願いします。

また、変更がなかった組合におかれましても、最新の情報をご記入頂けますと、データが更新できますので、下記の事項についてご記入頂きFAXをお願い致します。

なお、ご報告頂いた情報は、本会の個人情報の保護に関する基本方針に基づき「組合台帳」で適正に管理し、本会からの郵便物の発送や組合支援以外には使用いたしません。

組合等名			
住所(登記上)	〒		
住所(連絡先)	〒		
T E L		E - m a i l	
F A X		U R L	
代表理事名		就任年月日	平成 年 月 日
理事数	現員 人	監事数	現員 人
組合員数	人	決算月	月
事務局構成	専従役員 人	常用男女 人	パート男女 人
事務局責任者	役職	氏名	
組合の地区			
出資金	出資1口 円	出資総額	円

ご記入後、FAX(058-273-3930)にてご送付下さい!



## 研修生受入管理等研修会のご案内

中央会では、外国人研修生受入事業を実施している組合等を対象に、名古屋入国管理局、岐阜労働局の各担当者を講師に、適正な研修制度、技能実習生の適正な労務管理についての研修会を開催します。研修会では、昨年度の名古屋入国管理局、岐阜労働局の活動による組合、企業の受け入れ実態等についても説明します。

お問い合わせは組織指導チーム。  
**【日時】** 6月6日(水) 14:00~16:00  
**【場所】** 県民ふれあい会館 301中会議室  
**【講師】** 岐阜労働局 監督課 監察監督官  
 名古屋入国管理局関係職員  
**【テーマ】** 外国人研修生、技能実習生受入機関の責務について

### 組合役員向け研修会のご案内

組合において、役員が果たす役割は非常に重要です。中央会では、新たに役員となられた方々はもちろんのこと、既に役員となられている方々も対象に、組合役員として知っておきたい基本的な知識、心掛けておかなければならない義務と責任等について再認識していただくとともに、活力ある組合にするための組合役員に必要な役

割等についての研修会を開催します。組合運営において大変参考となる内容ですので、是非、多数のご参加をお待ちしております。お問い合わせは、組織指導チーム。  
**【日時】** 6月20日(水) 13:30~15:30  
**【場所】** 県民ふれあい会館 302大会議室  
**【講師】** 明治大学政治経済学部 森下正教授  
**【テーマ】** 活力ある組合にするために組合役員に必要な知識と役割

### 経営戦略セミナー

#### 「知恵の源泉は特許情報にあり」のご案内

企業の技術力を高めることの一つとして、特許の活用が注目を集めています。特許は、登録をされているのに活用されていないものをはじめ、特許として更新されなかった技術など、特許情報の中には中小企業が活用できる沢山の知恵が埋もれています。そこで、中小企業に

おける特許活用の現状や活用事例について説明するセミナーを開催します。  
**【日時】** 6月27日(水) 13:30~15:00  
**【場所】** グランヴェール岐山 5階 会議室  
**【講師】** オンダ国際特許事務所  
 会長 恩田博宣氏  
**【テーマ】** 知恵の源泉は特許情報にあり

(独)中小企業基盤整備機構  
 中部支部からのお知らせ

## 高度化事業のご案内 ~こんな制度をご存知ですか?~

高度化事業制度とは、中小企業者が経営基盤の強化を図るために事業協同組合などを設立し、必要な施設を整備する事業について、都道府県と中小企業基盤整備機構が一体となって、中小企業団体中央会と連携をとりながら、組合向けの経営支援と事業資金の融資(長期・低利)を併せて行うユニークな制度です。

### 1. 例えばこんなときにご利用できます。

生産・加工・保管・運送などを効率化するために、共同工場や物流センターなどの組合員共同利用施設をつくりたい	事業用地の拡張や物流機能強化のために適地に移転し、工場団地や卸団地を建設・整備したい
既存の集積(工場街など)の活性化のために個別組合員の施設を含めた集積全体の再整備をしたい	組合員のために最新鋭の設備を導入したい

上記はあくまでも一例です。これ以外にもメニューがあります。また、過去に本制度を利用して整備した施設のリニューアルを行う場合も対象となる場合がありますので、まずは下記あてにお問合せください。

### 2. 融資条件は以下のとおりです。

融資対象者	事業協同組合、協業組合、企業組合など
融資対象施設	土地、建物、構築物、設備であって、資産計上されるもの
融資割合	貸付対象施設の整備資金の80%以内
融資期間	20年以内(うち据置3年以内)
融資金利	1.10パーセント(平成19年度に融資決定を受けたものに適用)又は無利子(特別の法律に基づく場合など)であって、償還期限まで固定
担保・保証人	都道府県(又は中小企業基盤整備機構)の規定に基づきます

### 3. その他には

本制度の融資を受けた場合、さまざまな税制上の特別措置(軽減措置など)があります。

<お問合せ先>

独立行政法人中小企業基盤整備機構

中部支部 TEL 052(220)0516 又は 地域経済振興部 TEL 03(5470)1528

H P アドレス <http://www.smrj.go.jp/keiei/kodoka/index.html>

岐阜県中小企業団体中央会 TEL 058(277)1101



## 組合・中小企業の皆さん

### 社会全体で子育てを応援しましょう!

中央会は、県及び商工中金と「仕事と家庭の両立支援に取り組む企業への支援協力に関する協定」を結び、窓口相談・情報提供等の支援活動を積極的に行っています。県が取り組んでいる「子育て支援企業」に登録し、従業員の子育てを積極的に応援しましょう。

また、県では、県内に在住する18歳未満の子供が

いる世帯にカードを交付し、県内の企業、店舗などから割引やスタンプポイント加算などの特典が受けられる「岐阜県子育て家庭応援キャンペーン」を進めており、これに協力頂ける店舗等を募集しています。協力して頂きますと、県が作成する冊子での紹介や、キャンペーン事業のホームページの中で店舗が紹介されます。

事業の詳細については、組織指導チーム(058-277-1101)又は、県庁総合政策課までお問い合わせ下さい。

## 春の叙勲・褒章、県知事表彰

このたび、『春の叙勲・褒章』の受賞並びに『県知事表彰』を受賞された中央会関係者の方々をご紹介します。

### 叙勲

#### 【旭日双光章】

加藤都喜男氏 = 岐阜県米菓工業協同組合・理事長(中央会常任理事)

河渡幸夫氏 = 岐阜県木材協同組合連合会・元副会長

山岡常男氏 = 岐阜県旅館ホテル生活衛生同業組合・元理事長

### 褒章

#### 【黄綬褒章】

各務学氏 = 岐阜県木材協同組合連合会・副会長

#### 【県功労者(県知事表彰)】

#### 【社会福祉】

栗本幸一氏 = 岐阜県セメント卸協同組合・理事長

#### 【産業経済】

鴻村 満氏 = 協同組合アピック岐阜・理事長

山本恵嗣氏 = 東濃出光石油販売協同組合・理事長

#### 【労働】

清水公男氏 = 協同組合岐阜県刃物会館・理事長(中央会常任理事)

小菅徳明氏 = 岐阜県広告美術業協同組合・副理事長

## 平成20年3月新規学卒者求人取扱説明会のお知らせ

ハローワーク岐阜では、事業主を対象とした「平成20年3月新規学校卒業予定者の求人取扱説明会」を次のとおり開催します。

<岐阜会場>平成19年6月5日(火)(第1回目)10時～12時〔第2回目〕14時～16時 / 「長良川国際会

議場」4階大会議室

<各務原会場>平成18年6月8日(金)14時～16時・「各務原市産業文化センター」2階第3会議室(各務原市に所在地を有する企業のみ)

【内容】新規学卒者の求人扱い等について

【お問合せ先】ハローワーク岐阜・求人第2部門(学卒係) TEL058-247-9892

## 商業統計調査が行われます!

国及び地方自治体が実施する商業振興、中小企業支援及び中心市街地活性化などの様々な施策の基礎資料としての活用などのため、本年6月1日現在で全国のすべての商業事業所を対象に「平成19年商業統計調査」が行われます。

調査方法は、5月下旬から調査員が各事業所を訪問し調査票の記入依頼を行い、6月初めに調査票を取集する方法などにより実施されますので、ご協力をお願いします。

お問い合わせは、経済産業省産業統計室商業統計グループ(03-3501-1511 内2896)



### 6月中

4日 岐阜県建設関連業  
団体部会第30回定会  
(10時00分～ / 県民

ふれあい会館)

6日 研修生受入管理等研修会(14時00分～ / 県民  
ふれあい会館)

### 4月21日～4月30日

25日 中小企業の現場めぐりツアー

### 5月1日～5月20日

8日 中央会・理事会(役員会)(県民ふれあい  
会館)

表彰選考委員会(県民ふれあい会館)

商工中金・東海地区総代懇談会(名古屋  
マリオットアソシアホテル)

10日 岐阜地方最低賃金審議会(岐阜合同庁舎)

11日 青年中央会・第33回通常総会(ホテルパー

15日 岐阜県中小企業組合士協会第30回通常総会  
(15時30分 / ホテルパーク)

20日 組合役員向け研修会(13時30分～ / 県民ふれ  
あい会館)

27日 経営戦略セミナー(13時30分～ / グラン  
ヴェール岐山)

ク)

14日 県産業労働部と経済5団体との懇談会  
(県民ふれあい会館)

16日 多治見地区電気工業(協)・創立40周年記  
念式典(多治見市産業文化センター)

岐阜県飲食(生同)・創立40周年記念大会  
(ホテル十八楼)

17日 岐阜県旅館ホテル(生同)・創立50周年  
記念式典(水明館)

